

第3問 答案用紙<1> (経済学)

問題1

問1

X財の需要関数

$$M/2p_x$$

Y財の需要関数

$$M/2p_y$$

効用

$$M^2/4p_xp_y$$

問2

X財の需要関数

$$M/2p_x(1+t)$$

Y財の需要関数

$$M/2p_y$$

間接効用関数

$$M^2/4p_xp_y(1+t)$$

問3

$$M - p_x t x_0 \geq p_x x + p_y y$$

問4

$$tM/2(1+t)$$

問5

X財の需要関数

$$M(2+t)/4p_x(1+t)$$

Y財の需要関数

$$M/2p_y$$

間接効用関数

$$M^2(2+t)/8p_xp_y(1+t)$$

問6

一括固定税のほうが、 $M^2t/8p_xp_y(1+t)$ だけ大きい。

問題2

問1

供給量

20

財価格

60

厚生損失

400

固定費用が満たす条件

$$F < 800$$

問2

名称

限界費用価格形成原理

価格

20

総余剰

1600

問3

価格を限界費用である20以下に規制すること

問4

基本料金

5

従量料金

20

第 3 問 答 案 用 紙 < 2 >
(経 済 学)

問題 3

問 1

1

問 2

3

問 3

3

問 4

ピグー税

問 5

コースの定理が成立する前提条件としては、所有権が確定していること、交渉費用がかからないこと、分配効果がないことなどが挙げられる。外部不経済を発生させている被害者に補償金を支払っても、被害者が外部不経済の発生を抑制するような支払いを行っても、効率的な資源配分が実現するという定理である。

問題 4

問 1

9.6

問 2

非排他性と非競合性を有する財を公共財という。

問 3

48/7

第4問 答案用紙<1>
(経済学)

問題1

- | | | | |
|-----|----------|-------|-------|
| (1) | (ア)為替レート | (イ)介入 | (ウ)外貨 |
| (2) | (エ)低下 | (オ)乗数 | |

問題2

(1) 誤

誤っている理由 短期金利が長期金利の水準を上回る状態を逆イールド、長期金利が短期金利の水準を上回る状態を順イールドという。

(2) 誤

誤っている理由 家計や企業が株式や国債への投資を行うことは金融的投資であり、総需要を構成する実物的投資には必ずしも結びつかない。

問題3

問1

250万円

理由 生涯所得 $-500\text{万円} + 300\text{万円} \times 40\text{年} + 1000\text{万円} = 12500\text{万円}$ が生涯消費に等しいとすると、 $12500\text{万円} / 50\text{年} = 250\text{万円}$ となる。

問2

②

理由 投資が利子率に対して完全に非弾力的なので、LM曲線のシフトによって利子率が変化しても投資は変化せず、国民総生産も変化しない。

問3

$$w = (1 - \eta) b + \eta \mu$$

問4

20%

第4問 答案用紙<2>
(経済学)

問題4	問1	$r = 17 - 0.1Y$	問2	$r = 12 - 25/P + 0.1Y$
	問3	$Y = 150$	問4	$Y = 25 + 125/P$
	問5	$P = 0.8$		$Y = 80$
	問6	国内総生産が完全雇用水準を達成し、物価が完全に伸縮的であれば、 長期の総供給曲線は横軸に対して垂直になる。		

問題5	問1	$\pi_1 = 2\pi$	$x_1 = 2\pi$	
	問2	$i_2 = 1.5\pi$	$\pi_2 = 2.5\pi$	$x_2 = \pi$
	問3	$i_3 = 1.75\pi$	$\pi_3 = 2.75\pi$	$x_3 = -0.5\pi$